

## DC・ダイワJ-REITオープン

元本確保型の商品ではありません

### ◆ファンドの特色

- ・主な投資対象 …… 国内の不動産投資信託の受益証券、不動産投資法人の投資証券
- ・ベンチマーク …… 東証REIT指数(配当込み)
- ・目標とする運用成果 …… 東証REIT指数(配当込み)に連動した運用成果を目指します。

### ◆基準価額、純資産総額

基準価額	26,215円
純資産総額	177.47億円

\* 既出分配金累計：0円

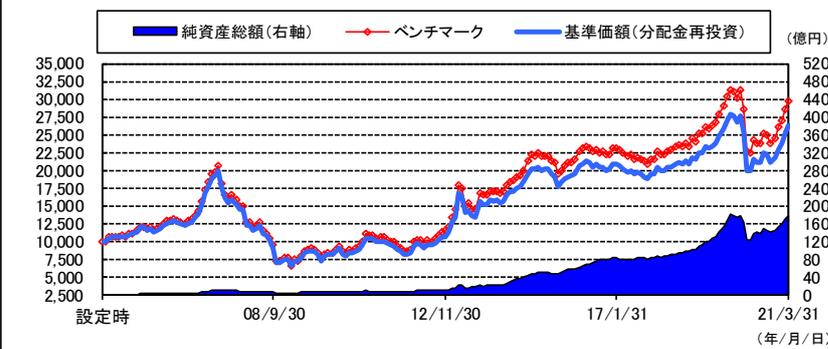
### ◆資産構成

不動産投信	97.53%
不動産投信 先物	2.45%
現金等	2.47%

\* 比率は純資産総額対比です。

### ◆基準価額の推移

- ・基準価額(分配金再投資)とベンチマークとの比較グラフです。
- ・月末最終営業日データ(分配金再投資基準価額・純資産総額)を使用しています。
- ・設定日(2004/8/31)の前日の基準価額とベンチマークを10,000として指数化したものです。



### ◆ファンド(分配金再投資)とベンチマークの収益率とリスク(標準偏差)

	3ヶ月間	6ヶ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率(分配金再投資)	13.98%	18.60%	30.75%	9.65%	4.60%	10.23%	5.98%
ベンチマーク収益率	14.13%	18.93%	31.57%	10.34%	5.23%	11.06%	6.78%
差異	-0.14%	-0.33%	-0.82%	-0.68%	-0.63%	-0.83%	-0.80%
ファンドリスク(分配金再投資)	-----	-----	13.69%	17.30%	14.19%	16.84%	18.48%
ベンチマークリスク	-----	-----	13.70%	17.33%	14.22%	17.02%	18.69%

\* ファンド収益率(分配金再投資)とは、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金で当ファンドを購入(再投資)した場合の収益率です。

\* 収益率・リスクともに月次収益率より算出。なお設定日が月中の場合、設定日が属する月の月次収益率は含んでいません。

\* 収益率は期間が1年以上の場合は年率換算しております。期間が1年未満のものについては年率換算していません。

### ◆組入上位10銘柄

(組入銘柄数 61)

銘柄名	用途名	ファンド ウェイト	ベンチマーク ウェイト
1 日本ビルファンド	オフィス不動産	6.60%	6.76%
2 ジャパンリアルエステイト	オフィス不動産	5.88%	6.03%
3 GLP投資法人	工業用不動産	5.11%	5.24%
4 日本都市ファンド投資法人	店舗用不動産	5.07%	5.20%
5 日本プロロジスリート	工業用不動産	5.06%	5.19%
6 野村不動産マスターF	各種不動産	4.84%	4.97%
7 大和ハウスリート投資法人	各種不動産	3.82%	3.91%
8 オリックス不動産投資	オフィス不動産	3.45%	3.54%
9 アドバンス・レジデンス	住宅用不動産	2.97%	3.04%
10 ユナイテッド・アーバン投資法人	各種不動産	2.86%	2.93%

\* ファンドウェイトは当ファンドの対純資産総額比です。

\* 用途名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)によるものです。

\* 税法その他の法規上の規制や組入銘柄の財務リスクや流動性などの理由から、「東証REIT指数」の採用銘柄をすべて組入れない場合や時価総額に応じた組入れを行わない場合があります。

### ◆過去3ヶ月間のパフォーマンス分析

当ファンドは、ファミリーファンド方式により、ダイワJ-REITマザーファンドを通じて運用を行っております。マザーファンドでは、東証REIT指数(配当込み)に連動する投資成果を目指して、東証REIT指数構成銘柄によりポートフォリオを構築しております。また、一部不動産投信指数先物も利用して、不動産投信の実質組入比率を100%程度に維持しています。

過去3ヶ月間のJ-REIT市場は、上昇しました。1月上旬は国内での新型コロナウイルスの新規感染者数の増加や緊急事態宣言の再発出を受けて横ばい圏の推移となりましたが、下旬以降感染者数が減少に転じるなか再び上昇基調に戻りました。J-REIT市場での公募増資の規模は引き続き小さく、需給が良好ななかで、国内株式に対する出遅れ感もあり、2月以降も上昇が続きました。3月上旬は国内外での金利上昇懸念により投資家がリスク回避姿勢を強めるなか下落しました。中旬以降、懸念が後退すると共にJ-REIT市場も上昇に転じました。2020年12月に続く、FTSEグローバル株式指数によるJ-REITの組入比率引き上げも指数の押し上げに寄与したとみられます。

こうした市場環境のもと、パフォーマンスは過去3ヶ月間で東証REIT指数(配当込み)が14.13%上昇するなか、当ファンドの基準価額は13.98%の上昇となりました。

■当資料は、当商品の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、元本および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■当資料は、大和アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成されましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。■上記「基準価額」は、運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。■東証REIT指数(配当込み)に係る知的財産権は、株式会社東証証券取引所(東証)に帰属します。なお、本商品は東証により提供、保証又は販売されるものではなく、本商品に係る損害等について東証は責任を有しません。